

講義名	企業論(マーケティング学科)			授業形態	
担当教員	岡村 俊一郎	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

日々のニュースで耳にする「企業」と「会社」は違うのでしょうか。そして、企業は具体的にどのような仕組みを持っているのでしょうか。そして、この企業という存在は、時代や国によって考え方が変わります。この講義では、それらを読み、皆さんが「企業とはどんな存在なのか」をイメージできるようになることを目指します。

到達目標

企業とはどのような仕組みを持っているのかを理解できる。
企業の社会的役割の変化や国ごとの違いについて理解できる。

提出課題

レポート課題と授業中に実施する小テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テスト実施後に解説を行い、即回の復習を行います。
また、レポート提出後に講評します。

評価の基準

授業中 小テスト 10 %
中間レポート 30%
定期テスト 60%
注：6回以上の講義欠席は、自動的に「放棄」として扱います。また、欠席届の対象となる事由によって欠席した場合は、所定の手続きを行った場合のみ配慮する。

履修にあたっての注意・助言他

他の受講生の迷惑になるような行為はやめるようにしてください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.よくわかる企業論.	佐久間信夫	ミネルヴァ書房	2700	9784623076505
------------	-------	---------	------	---------------

その他

<講義資料>
授業回ごとに LMS にアップロードするので、自分で確認すること。教室内での印刷物の配布は行わない。

授業計画

- ガイダンス
- 企業と会社
- 公企業と私企業
- 企業の誕生と発展 産業革命以前の企業
- 企業の誕生と発展 近・現代の企業
- 企業目的と企業 単数目標、複数目標
- 企業の統治構造と企業観 アングロサクソン型 ライン型
- アメリカの企業統治構造 所有と経営の分離、株主主権
- ドイツの企業統治構造 共同決定、ユニバーサルバンク制
- 日本の企業統治構造 株主相互持合い、経営者主権
- 企業統治構造の現状 エンロン・ワールドコム事件、オリンパス事件
- 企業の社会的責任と企業倫理 コンプライアンス、CSRピラミッド
- サステナブル経営とESG投資 PRI、環境経営
- 社会的企業とSDG
- まとめ・定期試験に向けて

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業資料を確認し、キーワードを調べておくこと。また、日々のニュースを確認し、自分が関心があるものを見つけておくこと。

復習：授業資料と授業中の説明についてまとめ、分からないことをピックアップしておくこと。

予習：2時間
復習：2時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「企業経営や組織を理解するための基礎知識・経営理論の習得」と、「それら知識・理論を使った現状分析の実施」を達成するための科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・小テスト課題やレポート課題は、オンラインツールを活用して実施する。

実務経験の有無及び活用

備考